

# 能登半島地震 支援活動

---



社会福祉法人恩賜財団済生会

2024年2月1日 18:00現在

# DMATの派遣

活動日	派遣元 (どこから)	派遣先 (どこへ)	備考
1/2~4	福井県済生会病院	石川県中央病院	第1班
1/4~6	福井県済生会病院	町立富来病院等	第2班
1/4~6	〈群馬〉前橋病院	公立穴水総合病院	
1/4~8	滋賀県病院	珠洲市総合病院	5人（医師1、救急救命士1、 看護師1、事務補助1）
1/4~8	福岡総合病院	石川県庁	
1/4~8	〈三重〉松阪総合病院	市立輪島病院	

# DMATの派遣

活動日	派遣元 (どこから)	派遣先 (どこへ)	備考
1/4~9	〈奈良〉中和病院	石川県立中央病院	
1/4~7	新潟病院	市立輪島病院	
1/5~9	静岡済生会総合病院	市立輪島病院	
1/6~8	山形済生病院	能登医療圏活動拠点本部 (能登総合病院内)	
1/6~9	水戸済生会総合病院	柳田温泉病院、柳田温泉病院介護医療院	
1/6~9	〈栃木〉宇都宮病院	能登医療圏活動拠点本部 (能登総合病院内)	

# DMATの派遣

活動日	派遣元 (どこから)	派遣先 (どこへ)	備考
1/6	福井県済生会病院	福井空港	福井空港SCU設置広域搬送 対応
1/7~14	〈神奈川〉横浜市東部 病院	石川県庁	
1/9	福井県済生会病院	福井空港	福井空港SCU設置広域搬送 対応
1/10~13	京都済生会病院	石川県立中央病院	
1/10~14	〈三重〉松阪総合病院	石川県立中央病院、小 松空港	
1/12~17	〈埼玉〉川口総合病院	珠洲市総合病院	4人（医師1、看護師2、薬 剤師1）

# DMATの派遣

活動日	派遣元 (どこから)	派遣先 (どこへ)	備考
1/12～18	岡山済生会総合病院	公立宇出津総合病院	
1/12～20	〈大阪〉千里病院	穴水町地域医療救護活動支援室	
1/13～19	〈埼玉〉加須病院	石川県保健医療福祉調整本部（石川県庁内）	DMAT（ロジスティックチーム）
1/14～17	〈大阪〉千里病院	石川県立中央病院	
1/16～22	〈神奈川〉横浜市東部病院	石川県 能登中部医療圏活動拠点本部	1/18～現地。6人（医師2、看護師2、救命救急士1、事務1）
1/17～21	滋賀県病院	いしかわスポーツセンター	

# DMATの派遣

活動日	派遣元 (どこから)	派遣先 (どこへ)	備考
1/17~22	〈埼玉〉加須病院	能登中部医療圏活動拠点本部	第1班
1/17~22	熊本病院	石川県穴水町保健医療福祉調整本部	6人(医師1、看護師2、臨床工学技士1、救命救急士1、事務1)
1/18~24	〈神奈川〉横浜市東部病院	石川県庁	
1/20~24	〈三重〉松阪総合病院	輪島市保健医療福祉調整本部	
1/20~	山形済生病院	珠洲市保健医療福祉調整本部	
1/21~28	〈埼玉〉加須病院	輪島市保健医療福祉調整本部	DMAT (ロジスティックチーム)

# DMATの派遣

活動日	派遣元 (どこから)	派遣先 (どこへ)	備考
1/21～	新潟病院	珠洲市保健医療福祉調整本部	
1/21～23	〈新潟〉 三条病院	珠洲市保健医療福祉調整本部	業務調整員(新潟大学との混成チーム)
1/21～23	〈島根〉 江津総合病院	能登町保健医療調整本部	
1/23～27	静岡済生会総合病院	輪島市保健医療福祉調整本部	
1/24～26	〈東京〉 中央病院	能登中部医療圏活動拠点本部	
1/24～28	滋賀県病院	金沢以南保健医療調整福祉調整本部	

# DMATの派遣

活動日	派遣元 (どこから)	派遣先 (どこへ)	備考
1/25~31	〈大分〉日田病院	穴水町保健医療福祉調整本部	
1/26~	〈茨城〉神栖済生会病院	珠洲市保健医療福祉調整本部	
1/26~31	熊本病院	石川県保健医療福祉調整本部 (石川県庁内)	DMAT (ロジスティックチーム)。医師1、看護師2
1/28~ 2/1	山口総合病院	能登町役場	
1/28~ 2/1	〈群馬〉前橋病院	能登中部保健医療福祉調整本部	



# DMATの派遣

活動日	派遣元 (どこから)	派遣先 (どこへ)	備考
1/29~	〈千葉〉 習志野病院	能登中部医療圏活動拠点 本部(能登総合病院内)	
2/1~10	〈大阪〉 千里病院	金沢以南保健医療福祉調 整本部 (県庁内)	6次隊
2/1~10	〈大阪〉 千里病院	能登中部保健医療福祉調 整本部 (能登中部保健福 祉センター)	6次隊

【参考】 神奈川済生会横浜市東部病院の活動

[https://www.tobu.saiseikai.or.jp/news\\_a/37179/](https://www.tobu.saiseikai.or.jp/news_a/37179/)

# DMATの派遣



市立輪島病院で活動する静岡済生会総合病院のDMAT。同院入院患者を被災地から避難させるための搬送調整などを担った。静岡への帰路は石川県立中央病院まで患者搬送をしながら帰還した。

# 災害医療チームの活動



〈福岡〉二日市病院は日本医師会災害医療チーム（JMAT）の活動として、医師1、看護師2、薬剤師1の4人が七尾市内の避難所などをまわり、医療ニーズの把握や避難者の健康観察などを行なった。  
道路事情の悪化で徒歩で移動せざるを得ない場面もあった。

# 職員の派遣

派遣期間	派遣元 (どこから)	派遣先 (どこへ)	備考
1/6～9	福井県済生会病院	市立輪島病院	災害支援ナース2人
1/12～17	静岡済生会総合病院	珠洲市総合病院	看護師1人
1/12～17	〈大阪〉中津病院	珠洲市総合病院	看護師2人
1/12～17	福岡総合病院	珠洲市総合病院	看護師1人
1/12～17	熊本病院	市立輪島病院、珠洲市 総合病院	看護師2人 (珠洲市総合) 薬剤師1人 (市立輪島)
1/13～14	〈福岡〉二日市病院	穴水町、能登町等の避 難所	日本医師会災害医療チーム (JMAT) 派遣要請。4人 (医師1、 看護師2、薬剤師1)

# 職員の派遣

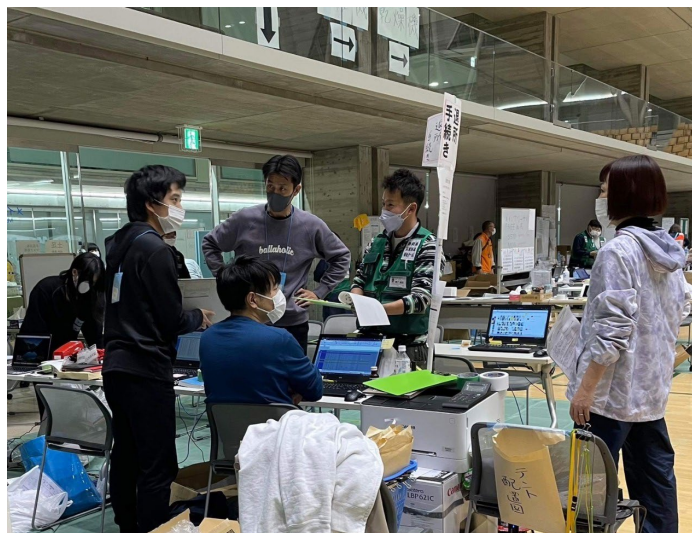
派遣期間	派遣元 (どこから)	派遣先 (どこへ)	備考
1/15~18	〈静岡〉 児童養護施設 川奈臨海学園	いしかわ総合スポーツセンター (1.5避難所)	DWAT登録員1人
1/17~22	〈茨城〉 神栖済生会病院	珠洲市総合病院	看護師1人
1/17~22	〈千葉〉 習志野病院	珠洲市総合病院	看護師1人
1/17~22	静岡済生会総合病院	珠洲市総合病院	看護師1人
1/17~22	〈大阪〉 茨木病院	珠洲市総合病院	看護師1人
1/17~20	熊本病院	輪島市内避難所他	薬剤師1人

# 職員の派遣

派遣期間	派遣元 (どこから)	派遣先 (どこへ)	備考
1/17~22	〈大阪〉 富田林病院	珠洲市総合病院	看護師1人
1/17~22	〈佐賀〉 唐津病院	珠洲市総合病院	看護師1人
1/22~25	〈静岡〉 児童養護施設 川奈臨海学園	富来町活性化センター (避難所)	DWAT登録員1人
1/27~ 2/1	〈福岡〉 飯塚嘉穂病院	市立輪島病院	看護師1人
1/27~ 2/1	〈佐賀〉 唐津病院	市立輪島病院	看護師1人
1/27~ 2/1	〈鹿児島〉 川内病院	市立輪島病院	看護師2人



# 職員の派遣



1.5次避難所の石川総合スポーツセンター（金沢市）で、避難者の聴き取りなどを行なう〈静岡〉児童養護施設川奈臨海学園の瀬戸純也氏（写真上）。石川県からの派遣要請に基づき、静岡県DWATチームの一員として活動した。同じく同学園の山田善紀氏もDWATとして〈石川〉志賀町の避難所・富来町活性化センターで避難者の支援活動をした。

DWAT : Disaster Welfare Assistance Team。

避難所などで高齢者や障害者などに対する福祉支援を行なう福祉専門職のチーム

# 職員の派遣



熊本病院の薬剤師・西 健太郎主任が熊本県薬剤師会の要請により輪島市で避難所やモバイルファーマシー（移動薬局車両）での活動をする。

派遣期間は1月17日～20日。

同院の田上治美薬剤部長は「熊本地震では被災経験者の支援に勇気づけられた。体につけて役目を果たしてきてください」と激励した。



# 職員の派遣



熊本病院の救援活動出発式。

派遣される職員は「熊本地震では全国から支援をいただいた。今度は私たちが石川県の皆さんに笑顔と元気を届けたい」と決意を述べ、中尾浩一院長は「熊本同様、能登も必ず復旧・復興する。能登の皆さんと一緒に頑張りましょうと伝えてください」と述べた。

# 患者の受け入れ

受入日	受入元 (どこから)	人数 (人)	受入先 (どこへ)	備考
1/3	市立輪島病院	7	〈石川〉金沢病院	1/3市立輪島病院から透析患者15人の受入要請あり。先発7人の患者を受け入れ
1/4	市立輪島病院	8	〈石川〉金沢病院	1/3依頼の後発・透析患者8人受け入れ
1/6	柳田温泉病院	2	福井県済生会病院	
1/9	市立輪島病院	3	福井県済生会病院	

# 〈石川〉 金沢病院の活動



1月15日時点で被災地域から15人の透析患者を受け入れている。  
同院は隣接する避難所からの入院患者の受け入れを想定し病床を確保する必要があることから、他の済生会病院は応援の看護師を派遣している。  
写真は岡山済生会外来センター病院の看護師。

# 〈石川〉 金沢病院の活動



1月1日16：10地震発生直後に設営された院内の災害対策本部



# 〈石川〉 金沢病院の活動

地震発生直後、金沢病院には80人を超える住民が避難され、3階と5階のデイルームに避難所を設営、院内備蓄の毛布やエアマットを提供した。外部委託の院内売店の協力もあり温かいおにぎりやパンも配布した。

地震の影響でエレベーターが停止により、入院患者の夕食の配膳は職員が地下から5階までリレー配膳で対応した。



【3階の避難所】



【職員による配膳リレー】